

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年4月30日 (第2回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	三田市 (28219)
地域名 (地域内農業集落名)	桑原西 桑原西

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。□

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	33.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	15.3 ha
② 田の面積	33.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	4.7 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	7.7 ha
(参考) 区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	8.9 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	5.8 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農業従事者の高齢化のため、担い手不足が進行しつつあります。後継者の確保が課題です。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

今後も引き続き、酒米(山田錦等)と普通米(コシヒカリ等)の水稻栽培を中心とします。農作業の効率化を図るため、スマート農業をすすめていきます。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約を図ります。 規模拡大の意向がある担い手農家に農地を集積・集約していきます。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	13 %	将来の目標とする集積率	32 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
収益性の改善に向けて、地域の担い手に農地を集積・集約していきます。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手への農地集積を進めます。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを利用して段階的に集積・集約化します。農地中間管理機構や農地バンクの知名度が低く、利用方法やメリットが浸透していないことから、地域で勉強会等を行います。
(3)基盤整備事業への取組
農地の基盤整備については完了済みであるため、基盤整備事業への取り組みは考えていません。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
若手オペレーターの育成を行うとともに、スマート農業の導入を検討します。地域外の新規就農者や担い手の受け入れを検討します。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる防除作業は農業協同組合への委託を行います。農薬散布等の防除作業はオペレーターへ委託を行います。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ・米の買い上げ価格の増額(現在の農家にとって年々の経費高騰の中、農業経営が出来ない価格)
- ・農地の基盤整備・集約化計画の以前に、国等に協力し転作政策に協力してきた結果耕作できない農地の現実をどのように総括されているのかお伺いしたい。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者			0.062 ha	ha		0.034 ha	ha	1	
利用者			0.007 ha	ha		0.007 ha	ha	2	
利用者			ha	ha		0.128 ha	ha	3	
利用者		水稻、野菜	1.028 ha	ha		1.072 ha	ha	4	
利用者		水稻、野菜、その他	1.109 ha	ha		0.368 ha	ha	5	
認農等		水稻	1.614 ha	ha		1.468 ha	ha	6	
利用者		水稻、その他	0.211 ha	ha		0.096 ha	ha	7	
利用者		水稻、野菜、その他	0.964 ha	ha		0.286 ha	ha	8	
利用者		水稻、野菜、その他	0.257 ha	ha		0.082 ha	ha	9	
利用者		水稻、野菜、花卉	0.246 ha	ha		0.265 ha	ha	10	
利用者			0.128 ha	ha		0.128 ha	ha	11	
利用者		野菜	0.486 ha	ha	野菜	0.486 ha	ha	12	
利用者		水稻、野菜、果樹、その他	1.870 ha	ha		0.046 ha	ha	13	
利用者		水稻、野菜、花卉	1.419 ha	ha		1.419 ha	ha	14	
利用者		水稻、野菜、花卉、果樹	0.769 ha	ha		0.755 ha	ha	15	
利用者			0.217 ha	ha		0.217 ha	ha	16	
利用者			0.056 ha	ha		0.056 ha	ha	17	
利用者		水稻、その他	0.353 ha	ha		0.353 ha	ha	18	
利用者		水稻	0.146 ha	ha		0.146 ha	ha	19	
利用者			0.047 ha	ha		0.047 ha	ha	20	
利用者		水稻、野菜	0.504 ha	ha		0.504 ha	ha	21	
利用者			0.146 ha	ha		0.146 ha	ha	22	
利用者		水稻、野菜、花卉、果樹、その他	1.696 ha	ha		1.696 ha	ha	23	
利用者		その他	0.024 ha	ha		0.024 ha	ha	24	

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。